

## 陶製品（粘土瓦製品）に関するお願いと注意点

### ■ いぶし瓦素材の取扱注意

- 油類やその他の汚れが付着すると、シミになったり汚れが取れなかったりしますのでご注意ください。
- 養生テープやガムテープなど粘着材を貼り、それらを剥がすと表面の炭素膜が取れて、その部分の色が変わりますのでご注意ください。
- 鉄分を含んだ水がかかると、表面にサビ汚れがでます。この汚れは除去できませんのでご注意ください。
- 表面の炭素膜は傷付きやすいのでご注意ください。

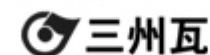
### ■ 製品に関するお願い（粘土瓦製品の特性について）

- 本製品は陶器製品のため、ネジレや寸法のバラつき、色ムラがあります。
- 粘土瓦製品は経年により変色する場合がありますが、製品本来の品質には全く問題はありません。

### ▲ 安全に関するご注意

- 工事に不備があると、落下・破損等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦製品を使う場合には、専門業者にご相談下さい。
- 粘土瓦製品で特殊な設計を行う場合は、専門業者にご相談下さい。

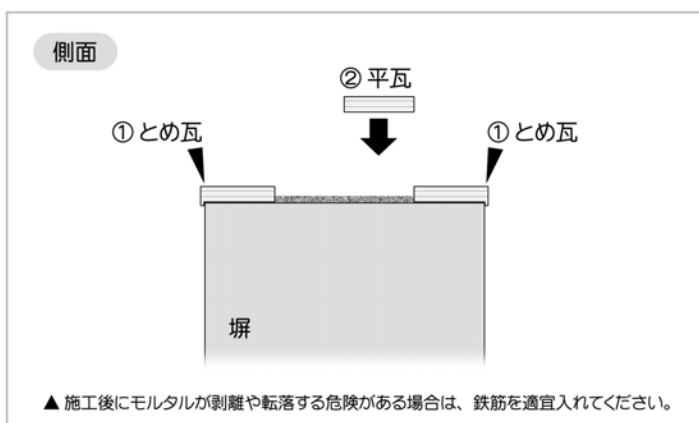
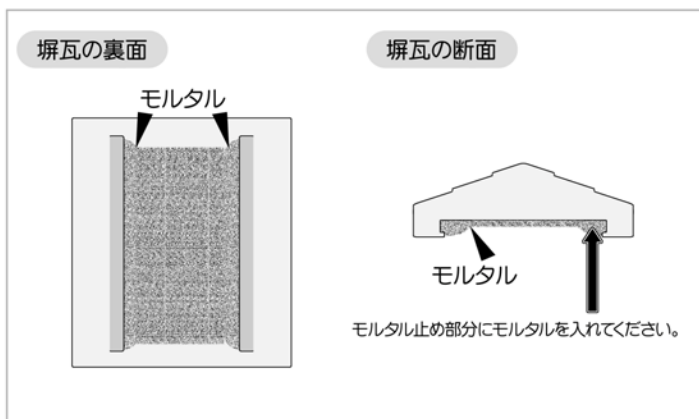
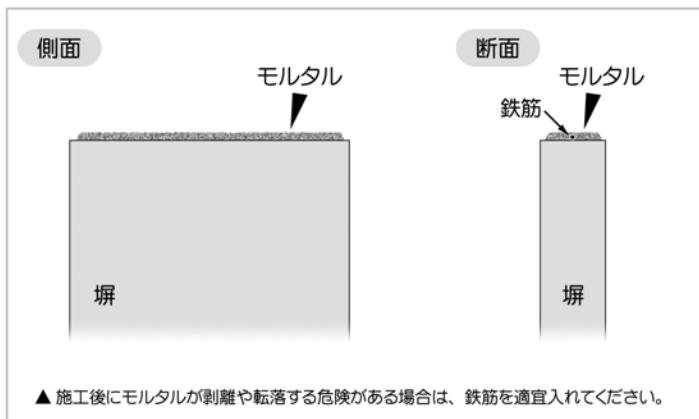
人にやさしい・・・



## 必要枚数の算出

平瓦の必要枚数 = 塀の長さ ÷ 平瓦の働き長さ - とめ瓦2枚

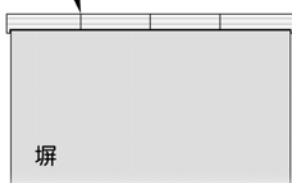
● セシ・ふらの平瓦枚数 = 塀の長さ ÷ 200mm - 2枚（端数は切り上げてください）



## 備考

「セシ・ふらの」の接合部分には、重なり（玉口）がありません。雨垂れにより塀が汚れる心配がある場合、接合部分をコーキング剤などで接着してください。

【お勧め】接合部分をコーキング剤で接着



## Step-1

- ・ 塀にモルタルを左図のように施工してください。（速乾性のモルタルは避けてください。）  
（適宜、鉄筋を入れて補強をし、銅線等で止め付けてください。）

## Step-2

- ・ 塀瓦の裏面にモルタルを左図のように入れてください。
- ・ その際、塀瓦のモルタル止め部分（凹部）にモルタルをしっかり入れてください。

## Step-3

- ・ 最初に両端の①とめ瓦を施工してください。
- ・ 次に②平瓦を施工してください。
- ・ 施工は、塀瓦を押しつけて、塀のモルタルと塀瓦のモルタルが馴染むようにしてください。（調整瓦はありません。）

## 陶製品（粘土瓦製品）に関するお願いと注意点

## ■ いぶし瓦素材の取扱注意

- ・ 油類やその他の汚れが付着すると、シミになったり汚れが取れなくなったりしますのでご注意ください。
- ・ 養生テープやガムテープなど粘着材を貼り、それらを剥がすと表面の炭素膜が取れて、その部分の色が変わりますのでご注意ください。
- ・ 鉄分を含んだ水がかかると、表面にサビ汚れがでます。この汚れは除去できませんのでご注意ください。
- ・ 表面の炭素膜は傷付きやすいのでご注意ください。

## ■ 製品に関するお願い（粘土瓦製品の特性について）

- ・ 本製品は陶器製品のため、ネジれや寸法のバラつき、色ムラがあります。
- ・ 粘土瓦製品は経年により変色する場合がありますが、製品本来の品質には全く問題はありません。